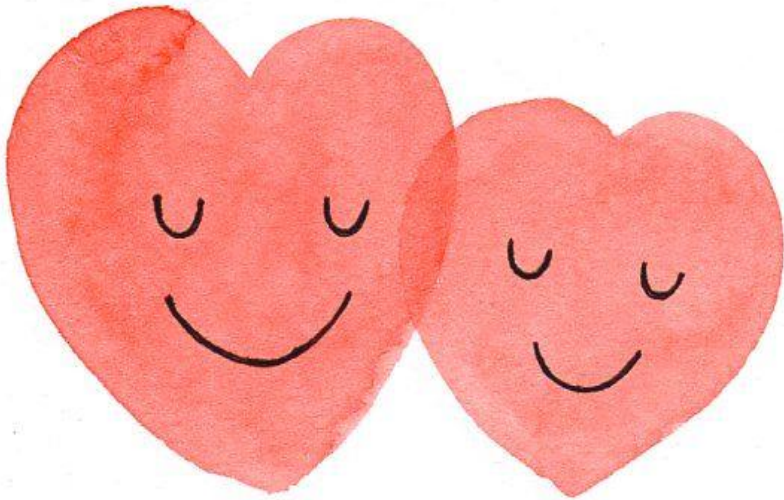


妊娠期の助産診断・技術学



# 妊娠後期の診断とケア



2026/5/11  
関根

# 妊娠後期の診断とケア



- ①妊婦の健康状態や生理的变化の評価および異常の早期発見と対処
  - ・妊娠合併症（HDP、GDM、貧血など）の発症
  - ・切迫早産や前期破水などの異常の早期発見
- ②胎児の発育と健康状態の評価およびリスクの予測
  - ・胎児の発育が週数相当であるか
  - ・胎児心拍数モニタリング：胎児心拍数基線が正常範囲内であるか、胎児心拍パターンがreassuringであるか
  - ・妊娠37週以降：胎動や腹部緊満時の胎児心拍パターンに異常がないか（一過性頻脈がみられるか、徐脈はないか）
  - ・胎児付属物：前置胎盤や胎盤早期剥離のリスクの把握

# 妊娠後期の診断とケア



## ③分娩に対する準備状態の診断と分娩経過の予測

- ・ 会陰の伸展具合、膣腔の広さ
  - ・ 経産婦の場合は会陰部の縫合瘢痕の状態
  - ・ 内診所見：子宮頸管の熟化の状態（ビショップスコア）
  - ・ 胎児の胎位胎向と胎児下降の有無や先進部の骨盤進入状態
- ➡分娩開始時期を予測する

## ④妊婦と家族の分娩に対する準備状況

- ・ 分娩に対する気持ち
- ・ 家族や職場との調整が進んでいるか
- ・ バースプランの立案
- ・ 受診が必要な時期についての理解が出来ているか
- ・ 医療機関へのアクセス方法、所要時間

# 妊娠後期（37週6日）の予測



\*A氏と胎児の予測をしてみよう（⇒前回の授業の課題）

- ➡前回までの経過をふまえる
- ➡妊婦（母体）の状態
- ➡胎児の状態



そこから導き出される助産ケア（保健指導など）は？



どんなことが予測できたか。予測を踏まえてどんな助産ケア（保健指導）が考えられたか。  
⇒みんなで共有しよう！

# 妊娠後期（37週6日）の予測・助産ケア グループワーク



\*グループワークでお互いの学習を共有しよう（15分）

➡順番を決め、学習した内容を説明する。

相手に伝わるように意識して説明しよう。

➡聞いている学生は、耳を傾け丁寧に聴く（意見は言わない。脱線しないように）。

➡お互いの学習内容の説明が終わったら、意見交換を行う。



## 妊婦の予測 胎児の予測



グループワークでの共有内容を、クラス全体で共有しよう！

36週までの妊娠経過が反映されているか？

# 保健指導を考えよう

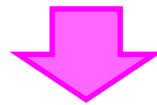
## \* GBS



### \* GBS(B群溶血性レンサ球菌)…10~20%の妊婦で検出

➡妊娠35~37週にGBS培養検査を行う

(分娩時の産道内GBSの存在予測の為に、分娩前5週間以内での検体採取が望ましい)



### \* 新生児早発型GBS感染予防対策

・ GBS陽性妊婦・前児がGBS感染症など

➡経膣分娩中や前期破水後、**ペニシリン系**などの抗菌薬を**点滴静注**する。



母体には自覚症状がないことから、分娩時の産道感染予防のための抗菌薬投与の必要性について十分理解できるよう説明。分娩前の抗菌薬投与を考慮した来院のタイミングなど、事前に妊婦と相談&産道の熟化や前駆陣痛の有無など、分娩開始状況徴候をよく確認しよう。

# 保健指導を考えよう

## \*異常の早期発見・予防



### \*HDPリスクのアセスメント

➡定期的な血圧測定により、妊娠高血圧症候群（HDP）の早期発見、発症予防に努める



### \*妊婦健康診査で行うスクリーニング項目「血圧」

➡健診ごとの血圧の変化を経時的に観察し、HDPへの移行を予防する。

血圧の値を解釈するときは…

一時的に血圧が上昇している？ ➡測定直前の動静を確認しよう  
妊娠経過とともに上昇している？ ➡血圧上昇に伴う身体的変化はないか？

寝不足などの身体的負担はないか？ ➡睡眠サイクルの変化や心理面の変化にも目を向けよう



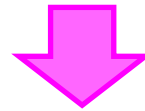
# 保健指導を考えよう

## \*入院のタイミング



### \*破水

➡尿漏れ？破水？…高位破水では羊水の流出が少量で判断しづらい。積極的に受診してもらい、クスコ診にて羊水流出の有無や破水診断キットを使用し、確認する。



上行性感染のリスク ➡ **絨毛膜羊膜炎 (CAM)** 講座6p114

### \*性器出血

➡産徴？異常出血？…性状・量、他の症状の確認（圧痛、持続的子宮収縮、「板状硬」 ➡ **常位胎盤早期剥離** 講座6p116



入院のタイミングを考えるときは、分娩開始の兆候とそのほかに確認すべき情報を逃さないようにする。

「なにで（手段）」「誰と」「どのくらい（病院までの時間）」  
+ 妊娠経過や最終の内診所見。経産婦の場合は、前回の分娩経過など。

# 保健指導を考えよう

## \*入院のタイミング



### \*胎動減少

- ➡妊娠後期の胎児睡眠サイクルのために胎動が少ない時間もあるが、長時間**全く動かなくなることはない。**  
「いつもより胎動が少ない」は**受診のタイミング!**

### \*前駆陣痛

- ➡分娩開始の数日前から起こる不規則な子宮収縮。  
血性分泌物や下腹部痛を伴うことが多い。



内診所見、CTGによる子宮収縮の評価を行う。



胎動減少を自覚したら、胎動カウント+胎児のwell-beingを評価

# 胎児の健全性 (well-being) を考えよう

\*胎児の健康状態



## \*胎児機能不全・胎盤機能不全の評価

- ➡**羊水量の測定**…羊水ポケット (AFP)、最大羊水深度 (MVP)  
羊水インデックス (AFI)
- ➡**NST**…全ての妊婦に対し妊娠36週以降に1回は行うことが望ましい。41週以降は2回/週以上の実施が勧められている。
- ➡**BPS**…超音波検査4項目にNST所見を合わせた5項目を用いて評価を行う



BPSによる管理方針を確認しておこう。羊水量減少を認める場合にはより詳細な評価が必要。

提出期限  
5月22日(金)  
8:40提出

## 課題⑧



様式1-③に37週6日の妊婦健康診査の結果（得られた情報、解釈、反応、実施、結果）と振り返り（リフレクション）を記載する

5/20シミュレーション演習で実施した妊婦健康診査の場면을記録に書いてみよう！

